

# 調 査 速 報

## 日本海スケトウダラ資源調査結果 ——計量魚探——

北海道立中央水産試験場(0135-23-7451)・稚内水産試験場(0162-32-7177)

函館水産試験場(0138-57-5998)

ホームページアドレス <http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/exp/central/kanri/>

- ・ 全体の産卵群分布量は 4.7 万トンで、2007 年の 6 割。
- ・ 北部海域では尾叉長 30cm 以下(2006 年級群)の未成魚が主体だが、産卵群もやや増加し、昨年の 1.3 倍。
- ・ 石狩湾では昨年の 0.5 倍、岩内湾では 0.8 倍。
- ・ 桧山海域は 0.5 倍。
- ・ 岩内湾には尾叉長 35cm 前後の初回産卵群が見られる。
- ・ 桧山海域では初回産卵群は少なく、尾叉長は 38～50cm の範囲。

北海道立水産試験場で実施したスケトウダラ計量魚探調査結果をお知らせします。

### 1. 調査海域と期間

- ・調査期間: 2008(平成 20)年 10 月 6 日から 10 月 16 日
- ・調査海域: 水深 200m より深い海域(図 1)
- ・試験調査船: 北洋丸(計量魚探, 着底トロール)  
おやしお丸(着底トロール)  
金星丸(計量魚探, 中層トロール)

### 2. 調査結果

#### 【魚群分布】

- ・積丹半島以北海域では、スケトウダラの分布は武蔵堆西側から南側でやや多く、産卵群分布量は 2007 年の 1.3 倍であった(図 2, 4)。分布密度は尾叉長 40cm 換算で最大で 5 尾/100m<sup>2</sup>であった。魚体サイズはどの地点でも尾叉長 27～28cm に分布の中心を持つ 2006 年級群が主体であった。(図 3)。
- ・石狩湾、岩内湾海域では、2007 年のそれぞれ 0.5 倍、0.8 倍の分布量であった。分布密度は最大でそれぞれ 1 尾/100m<sup>2</sup>、9 尾/100m<sup>2</sup>であった。魚体は体長 40cm を中心に 35cm 前後の初回産卵群も見られた。
- ・桧山海域では本道沿岸域で少なく、最大密度は津軽海峡西側で見られた。分布量は 2007 年の 0.5 倍、分布密度は最大で 18 尾/100m<sup>2</sup>程度であった。魚体サイズの主体は 38～50cm の範囲にあり、35cm 前後の初回産卵群は少なかった。分布深度の中心は 2007 年よりも浅く、深度 370m に見られた(図 5)。

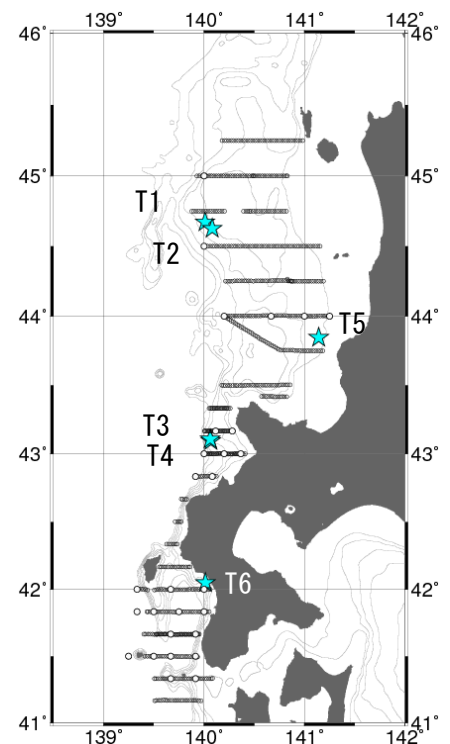


図1 調査海域。直線は魚探調査ライン、★はトロール位置、○は海洋観測位置を示す。図中の T1～T6 は図3と対応する。

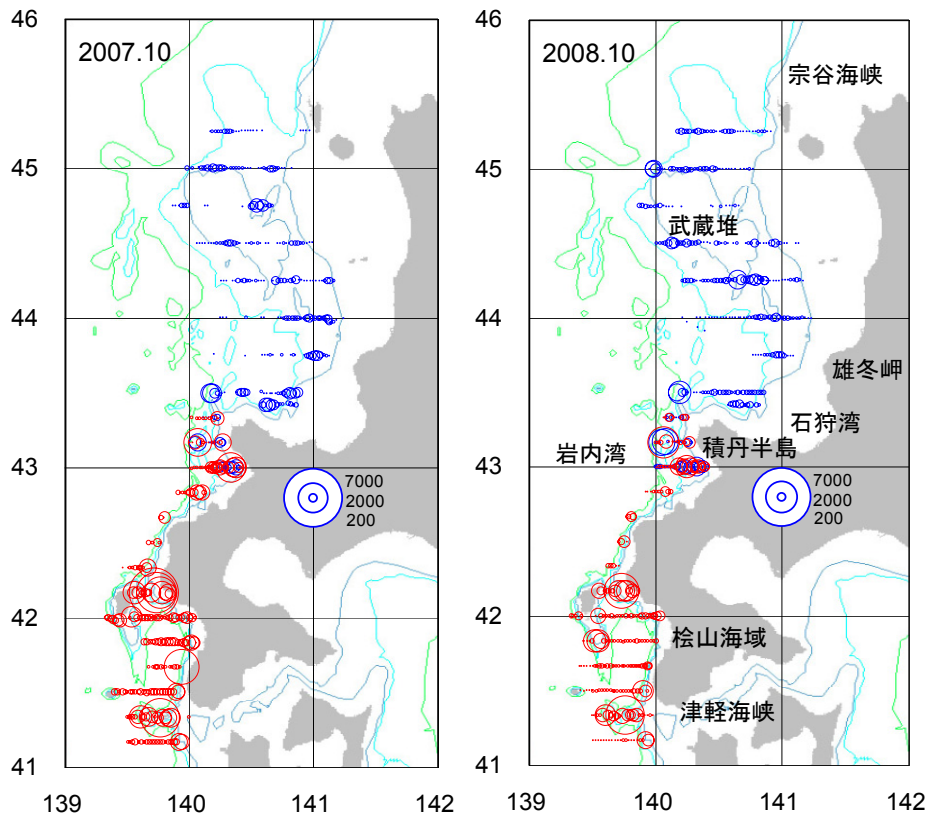


図2 スケトウダラ分布図(魚探反応量), 左:2007年, 右:2008年

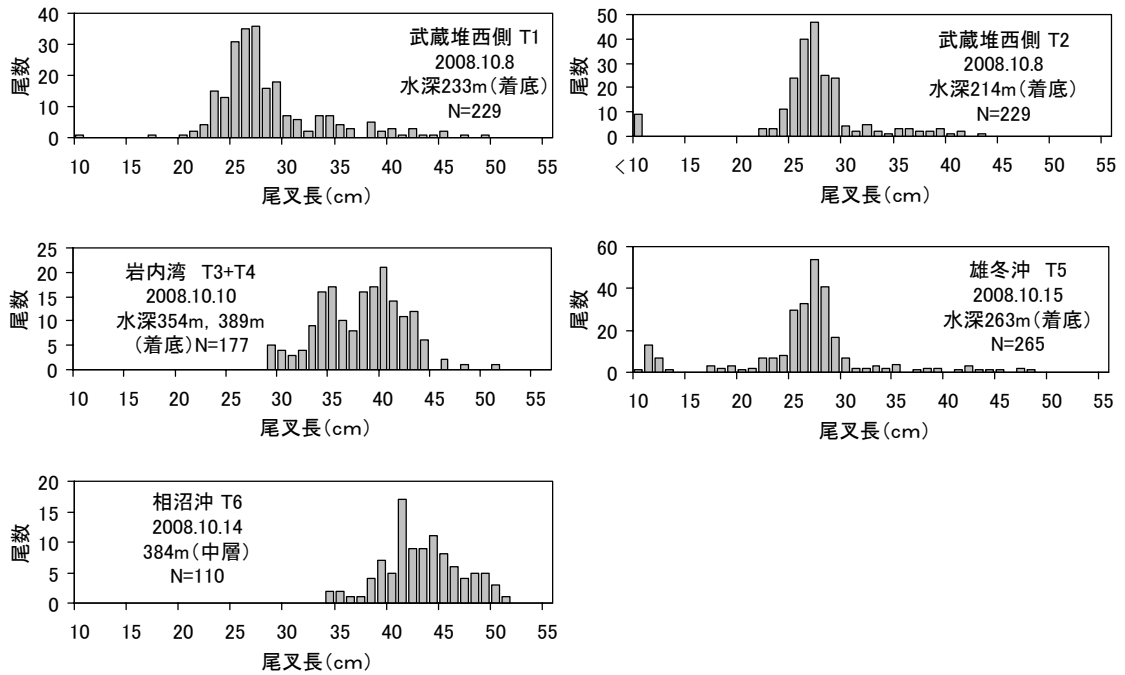
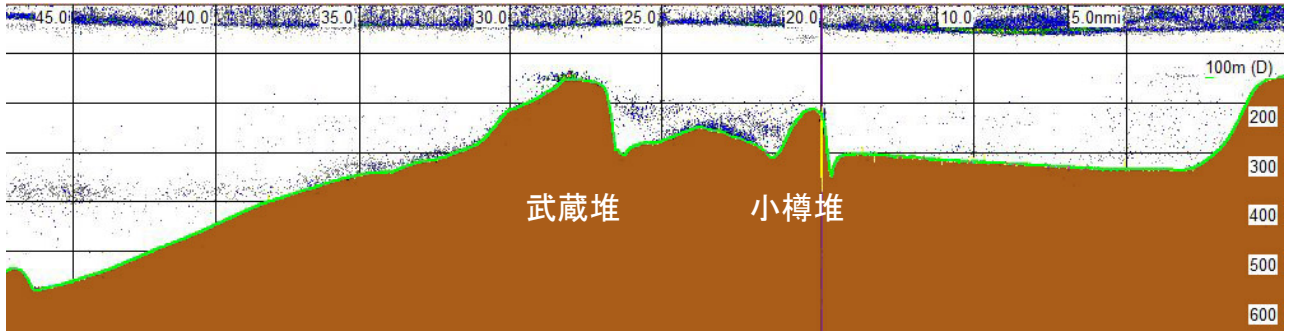
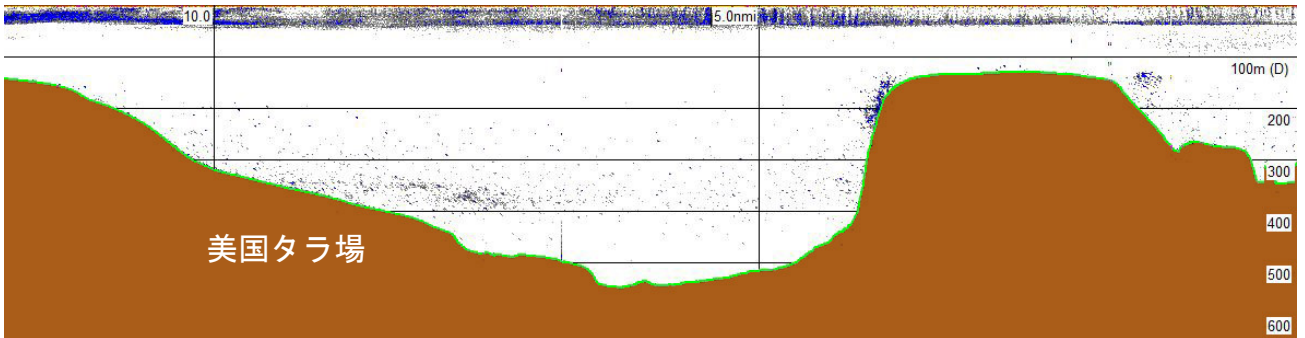


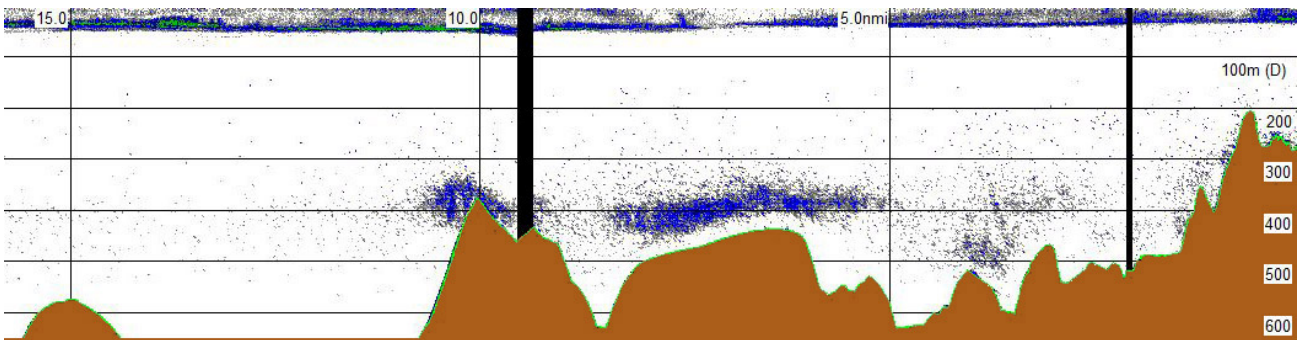
図3 トロール調査で採集されたスケトウダラの体長(尾叉長)  
トロール地点は図1に示した。



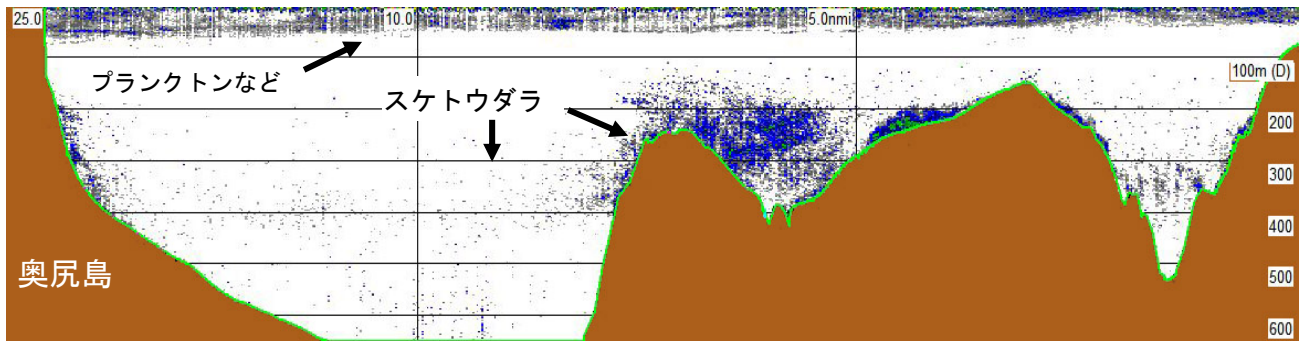
武蔵堆南部～小樽堆 北緯 44 度 15 分ライン(西→東)



石狩湾 北緯 43 度 25 分ライン(西→東)



岩内湾 北緯 43 度ライン(西→東)



桧山海域 北緯 42 度 10 分ライン(西→東)

図4 スケトウダラの魚探反応図

### 【水温環境】

100m層水温は2007年よりも低かった(図6)。水平分布を見ると8°C以上の暖水渦が岩内湾沖に見られ、この暖水渦はスケトウダラの南下を阻害する可能性がある。また、産卵場となる岩内湾や桧山沿岸では7°C以下であった。

### 3. 漁況予報

調査海域全体の分布量は4万7千トンとなり、過去最低の分布量となった(図7)。特に南部海域の減少が著しい。

北部海域の産卵群分布量も昨年より僅かに増加しているが、引き続き低い資源状態にあり、漁獲量は横ばいと予想される。この海域には2006年級群の未成魚が広く分布しており、次年度漁期に産卵加入すると期待される。

南部海域では、魚群分布量および暖水渦の形成場所から判断して、岩内湾の漁獲量は昨年並み～やや減少、桧山海域では半減すると予想される。ただし、スケトウダラの反応が沖合域に偏っていることから、産卵群の来遊が遅れている可能性も考えられる。また、岩内湾では尾叉長35cm前後の初回産卵群が見られており、今後の動きに注目したい。

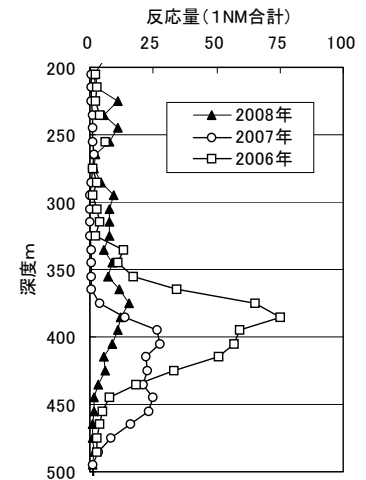


図5 桧山海域(乙部沖)におけるスケトウダラの分布深度

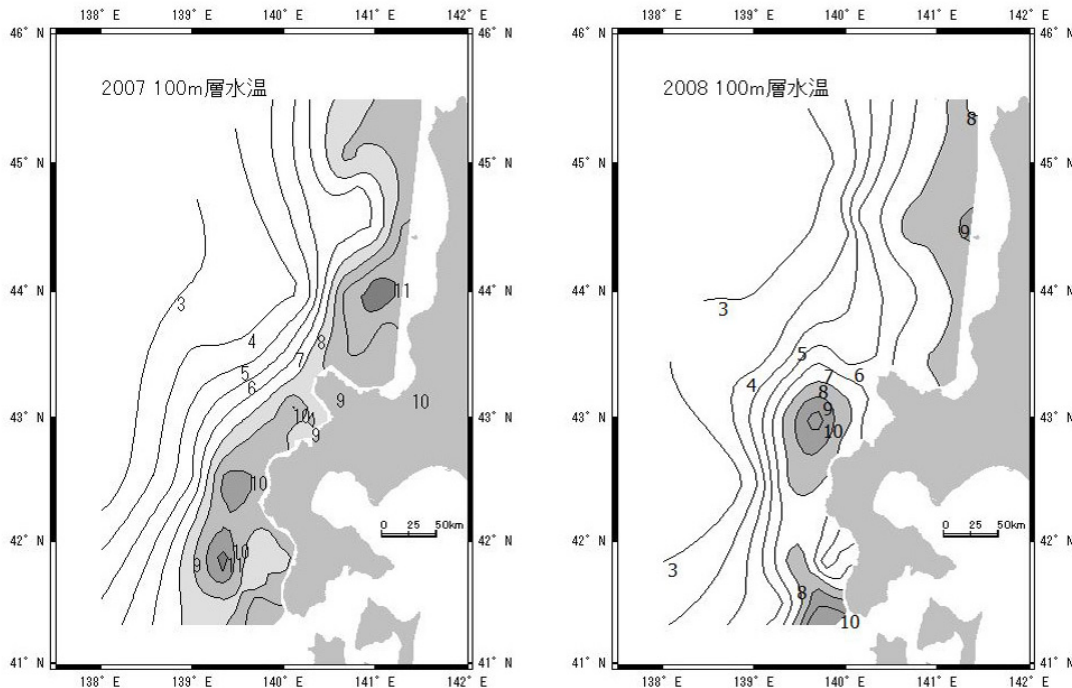


図6 道西日本海 100m層水温分布図(塗りつぶした範囲は水温8°C以上)

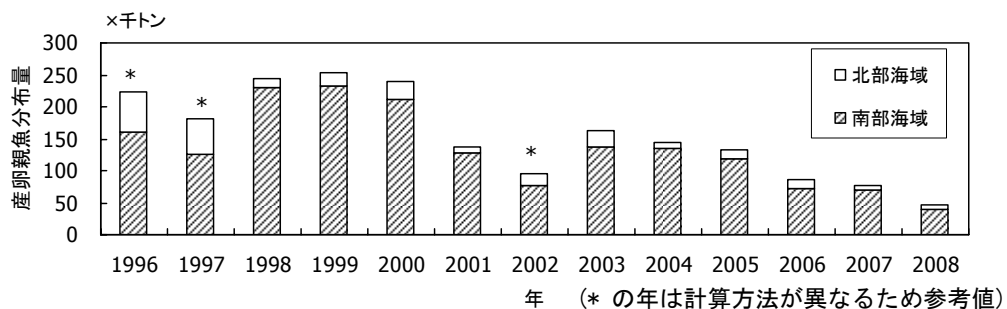


図7 スケトウダラ分布量(北部と南部海域の境界は北緯43度30分)